

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和2年7月8日（水）
8：45～12：25（1～4限）
場 所：松江市立持田小学校体育館及び周辺
対象者：同校6年生 35名
指導者：○6年部教職員（3名）

○島根県教育庁文化財課
古代文化センター（2名）

1. 主題（主題名）

古代の遺跡・建造物から知る古代の人々の思い

2. ねらい

・身近にある遺跡の見学を通して、古代の人々の生活や思いを知り、島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

学習活動	指導者の支援及び留意点
<p>8：45～9：00（15分） ①座学：はじめに～島根の歴史・文化の魅力～ ・今日見る古墳の形 シート（1）（2）</p> <p>9：00～11：20（140分） ②見学：持田小校区内の遺跡探検（太田古墳群1～5号墳、大源古墳）</p> <p>11：30～12：25（55分） ③座学： ・学校周辺の遺跡 地図②</p> <p>④遺物見学 ・堤ノ上遺跡出土遺物（古墳時代） ・東前田遺跡出土遺物（古墳時代）</p>	<p>・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう質疑応答の対話形式で進行</p> <p>・発掘調査でみつかった遺物や遺跡の写真パネル、地図、ワークシートを活用</p> <p>・遺物については、実際に触れたり、近くで観察したりする時間を設定</p>

検討課題：学習内容、順番、時間配分、優先順

3. 準備物等

- ・〔説明用具〕遺物、説明用パネル、ワークシート
- ・〔備 品〕長机、ホワイトボード
- ・〔児童の装備〕長袖・長ズボン、帽子、水筒、虫除け、雨具